

打撃王 (1942)

THE PRIDE OF THE YANKEES

メディア 映画
ジャンル ドラマ スポーツ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 127分
初公開日 1949/03/22
公開情報 セントラル
リバイバル 1949/03 [R K O]

【解説】

ニューヨーク・ヤンキースで連続出場の記録を打ち立て、“ヤンキースの誇り”と呼ばれた不世出のメジャー・リーガー、ルー・ゲーリックの劇的な半生を描いた伝記ドラマ。

ニューヨークのドイツ系移民の貧困家庭に生まれたゲーリック。彼は少年の頃からメジャー・リーガーを志していたが、機械技師にさせたい母の願いからコロンビア大学へ進む。だが、学内では野球に励み、彼の類い希な素質を認めた記者を通じてヤンキースと契約を結ぶことに。やがて、メジャーにデビューしたゲーリックはたちまち人気スターとなり、シカゴで出会ったエレノアと結婚する。そしてなおも活躍し、二千回以上の連続出場を果たすが、その頃から、ある難病がゲーリックの体を確実に蝕み始めていた…。

ルー・ゲーリックって本当はここまでいい人でもなかったらしい。が、映画とはこうゆうもの。そして、彼のうちたてた不滅の大記録（2130試合連続出場――95年にカル・リプキンによって更新された）と掛け値なしの劇的な人生（小児マヒで引退後死去）は美化されて当然。ラスト、6万2千人のファンを背に球場を後にする彼（G・クーパーがなりきっている）と愛妻（T・ライトが何とも愛らしい）の後ろ姿に滂沱の涙禁じえず、大拍手喝采を送ってしまうのは、現実でも映画でも一緒だ。P・ギャリコの原作をハーマン・マンキウィッツらが脚本化。ルドルフ・マテのカメラも素晴らしい。監督ウッドには「甦る熱球」もあるが、あちらはせいぜい完投勝利、こちらはノーヒット・ノーランはいつている。

【クレジット】

監督	サム・ウッド	Sam Wood	
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn	
原作	ポール・ギャリコ	Paul Gallico	
脚本	ジョー・スワーリング	Jo Swerling	
	ハーマン・J・マンキウィッツ	Herman J. Mankiewicz	
撮影	ルドルフ・マテ	Rudolph Mate	
プロダクションデザイン	ウィリアム・キャメロン・メンジース	William Cameron Menzies	
編集	ダニエル・マンデル	Daniel Mandell	
音楽	リー・ハーライン	Leigh Harline	
出演	ゲイリー・クーパー	Gary Cooper	ルー・ゲーリック
	テレサ・ライト	Teresa Wright	エレノア
	ベイブ・ルース	Babe Ruth	ベイブ・ルース
	ウォルター・ブレナン	Walter Brennan	サム・ブレイク

ダン・デュリエ	Dan Duryea	ハンク・ハンネマン
ダグラス・クロフト	Douglas Croft	ルー・ゲーリック (少年)
ヴァージニア・ギルモア	Virginia Gilmore	マイラ・ティンズリー
エルザ・ジャンセン	Elsa Janssen	クリスティーナ・ゲーリック
ルドウィッグ・ストッセル	Ludwig Stossel	ヘンリー・ゲーリック